

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築設計製図1（実習）			通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		木造建築物を中心に基礎的な建築設計製図に関する演習を実施する。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 2級建築士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士新体系テキスト（設計製図） 図説やさしい建築計画 製図セット				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	基本製図	道具の使い方、線、矩形の描き方、文字の描き方				2
2	↓					2
3	↓					2
4	製図規約					2
5	↓					2
6	↓					2
7	設計に用いられるいろいろな図面	図面の分類とその役割、各種図面の表記事項と描き方				2
8	↓					2
9	↓					2
10	↓					2
11	計画手順	計画の基本的な考え方・問題文を読み取るポイント・プランニングの進め方・計画の留意点等				2
12	↓					2
13	↓					2
14	↓					2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	木構造の設計製図	木構造の設計（設計の進め方/木構造設計の基礎知識） 木造の設計製図		2
17	↓	平面図の描き方・木造軸組工法・短計図と部分詳細図の描き方・2階床伏図兼1階小屋伏図の描き方		2
18	↓	断面図の描き方・立面図の描き方・仕上表・その他の参考図等		2
19	↓			2
20	↓			2
21	↓			2
22	↓			2
23	鋼構造の設計製図	鋼構造の設計（鋼構造の設計手順/鋼構造の基礎知識）・鋼構造の製図（鋼構造の図面・一般図・構造図・詳細図）		2
24	↓			2
25	↓			2
26	↓			2
27	↓			2
28	↓			2
29	↓			2
30	↓			2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築計画1（講義）			通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		人間の行動を理解し、建築を計画、デザインするための基礎知識を身に付け各空間を計画するうえで重要な事項を学習する。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築施工管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト(計画) 2級建築士学科新体系問題集(計画) 改訂版建築計画を学ぶ建築計画教材研究会				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築計画とは	建築をつくる、空間構成とは				2
2	↓					2
3	↓					2
4	建築を作る行為と建築技術者の役割					2
5	↓					2
6	↓					2
7	↓					2
8	モジュラーコーディネーション	モジュロール・プレファブ리케이션等				2
9	↓					2
10	面積算定・寸法設計の概要	商業建築・各部寸法等				2
11	↓					2
12	住宅	一戸建住宅・高齢者への配慮等				2
13	↓					2
14	↓					2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	事務所・ホテル	レンタル比・フリーアドレス方式・机の配置等		2
17	↓			2
18	↓			2
19	バリアフリー設計	エレベータボタン・駐車場の広さ・手すり等		2
20	↓			2
21	高齢者施設			2
22	↓			2
23	学校・幼稚園	学校の運営方式・普通教室の床面積・保育室等の面積等		2
24	↓			2
25	↓			2
26	都市計画	住宅地の道路計画・住宅地の計画・住宅地の道路等		2
27	↓			2
28	建築史	歴史的建造物・作品・日本建築史・近代建築史等		2
29	↓			2
30	↓			2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築環境工学1（講義）			通期	教科担任： 矢萩東邦（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数：	2単位
授業のねらい		㈱KOEIの職員が指導し、建築環境工学が建築設計にどのように活かされ、また建築物を取り巻く外界状況（都市・地球環境）について理解・習得する。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 二級建築士			教材費	
テキスト・教材		二級建築士新体系テキスト「計画」，新体系問題集「計画」 初学者の建築講座「建築環境工学」（第三版）				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築環境工学の役割					2
2	↓					2
3	室内環境	温熱要素・環境側の要素・人体側の要素・温熱指標・ET・SET・OT・空気線図・空気環境汚染				2
4	↓	シックハウス・ホルムアルデヒド・クロルピリホス等				2
5	↓					2
6	↓					2
7	↓					2
8	換気	自然換気・機械換気・必要換気量・風力による換気・温度差による換気・全般換気・局所換気・計画換気				2
9	↓	定常状態の汚染質濃度・必要換気量の基準・換気回数計算等				2
10	↓					2
11	伝熱・結露	熱の移動・壁体の伝熱・伝熱の指標・伝熱の計算・結露現象・結露の防止対策等				2
12	↓					2
13	↓					2
14	↓					2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	日照・日射・採光	日照・日影・日射・日射量・建築物が受ける日射・日射調整・視覚の特性・昼光等		2
17	↓			2
18	↓			2
19	↓			2
20	↓			2
21	色彩	色彩の種類・色彩の表示・色彩の心理効果・光源色・物体色・マルセル表色系等		2
22	↓			2
23	↓			2
24	建築設備と環境	気候気象・地球環境・省エネルギー手法・省エネルギー基準・LCA・CASBEE等		2
25	↓			2
26	↓			2
27	↓			2
28	↓			2
29	音響	音波・音の物理量・音の感覚的な性質・室内の音環境・吸音・遮音等級・遮音等		2
30	↓			2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築設備1（講義）			前期	教科担任：後藤拓（実務経験教員）		
学科名： 建築		コース：		1年	単位数： 4単位	
授業のねらい		(株)KOEIの職員が指導し、快適な室内環境形成や維持のため、換気・暖房・冷房等・消火・排煙・ガス・電気設備等について学習する。			前期 4H×15W = 60H 後期 4H×15W = 60H 合計 120H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築施工管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト（計画） 2級建築士学科新体系問題集（計画） 初学者の建築講座 建築設備				
評価方法		前期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築設備概論	建築設備と設備計画等				4
2	↓					4
3	↓					4
4	換気、日照・日射、熱					4
5	↓					4
6	↓					4
7	空気調和設備	空気調和設備の計画・各部の計画・空調の種類・省エネルギー空調方式・暖房設備等				4
8	↓					4
9	↓					4
10	↓					4
11	給排水衛生設備	給水設備計画・給湯設備計画・排水設備計画・衛生設備・排水再利用設備・雨水利用設備等				4
12	↓					4
13	照明設備	照明方式・照明基準・照明計算・自動制御等				4
14	↓					4
15	↓					4
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築設備1（講義）			後期	教科担任：東北電化		
学科名： 建築		コース：		1年	単位数： 4単位	
授業のねらい		快適な室内環境形成や維持のため、換気・暖房・冷房等・消火、排煙・ガス・電気設備等について学習する。			前期 4H×15W = 60H 後期 4H×15W = 60H 合計 120H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築施工管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト（計画） 2級建築士学科新体系問題集（計画） 初学者の建築講座 建築設備				
評価方法		後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
16	照明設備	採光・照明・発光のしくみ・光源の種類と特徴・温度放射・ルミネセンス・LED等				4
17	↓					4
18	↓					4
19	電気・輸送設備	電気設備・電気設備の構成・避雷設備・情報通信設備・エレベータ・エスカレーター等				4
20	↓					4
21	↓					4
22	↓					4
23	↓					4
24	↓					4
25	消火・防災設備	火災の原因と被害・火災の性状・避難計画・消火の知識・消火設備・警報装置・防災設備等				4
26	↓					4
27	↓					4
28	↓					4
29	↓					4
30	↓					4
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 構造力学1（講義）			通期	教科担任： 山本絵里子（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		力を数量的にあつかう力学の基礎を学ぶ。部材の応力を算定するための基本的な考え方を修得する。力の釣合式のみで解ける静定構造物全般についての反力・応力・応力図が算定できる能力を得ることを目的とする。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト(構造) 2級建築士学科新体系問題集(構造) 初学者の建築講座建築構造力学図解入門				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	数理的知識を把握数学の基礎	微分・積分、ベクトル				2
2	↓					2
3	↓					2
4	↓					2
5	力学の基本法則	運動方程式、質量と運動量、モーメント、次元と単位、力の合成と分解				2
6	↓					2
7	↓					2
8	↓					2
9	↓					2
10	微分方程式の解法	微分方程式、初期条件				2
11	↓					2
12	↓					2
13	↓					2
14	↓					2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	構造物形態の種類と反力の算定方法	外力、反力、応力、応力度、変形、 静定構造物、片持ち梁、単純梁		2
17	静定梁において部材に作用する応力の算定方法	片持梁、単純梁、軸方向力、せん断力、曲げモーメント		2
18	↓			2
19	↓			2
20	↓			2
21	応力度とひずみ度	ひずみ度、応力度、弾性係数		2
22	↓			2
23	↓			2
24	部材断面が持つ力学的特性と部材断面に生じる曲げ応力度の算定	図心、断面 1次モーメント、断面 2次 モーメント、断面係数、T 形断面、 曲げひずみ度、曲げ応力度		2
25	↓			2
26	↓			2
27	↓			2
28	その他の応力度の説明と、構造設計の導入として材料強度との関係	せん断応力度、材料強度、構造設計		2
29	↓			2
30	現場見学			2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築一般構造1（講義）			通期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		建築の構造を学ぶうえで、知っておかなければならない基礎的な知識を、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に学習する。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト（構造） 2級建築士学科新体系問題集（構造）				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築構造とは	建物の色々な形、事例紹介等				2
2	↓					2
3	↓					2
4	構造力学の概要					2
5	↓					2
6	↓					2
7	鉄筋コンクリート構造	鉄筋コンクリートの性質・部材算定・コンクリートのひび割れと耐久性・壁式構造関係等				2
8	↓					2
9	↓					2
10	↓					2
11	鉄骨構造	鋼材の分類・鋼材の性質・形鋼・部材の設計・接合方法等				2
12	↓					2
13	↓					2
14	↓					2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	鉄骨鉄筋コンクリート構造	応力と変形の算定・許容応力度・累加強度式による算定・各部の設計等		2
17	↓			2
18	↓			2
19	補強コンクリートブロック構造	ブロックの種類と規模・耐力壁の構造・帳壁の規模・構造一般・配筋等		2
20	↓			2
21	↓			2
22	↓			2
23	木質構造と部材の設計	木材の構造概要・各部構造・壁重計算・耐力壁の配置について・許容応力度・部材の設計・接合部等		2
24	↓			2
25	↓			2
26	↓			2
27	地盤と基礎構造	建築物の地層・土の性質・土質試験・地盤調査と極限支持力・基礎の設計・地盤改良工法等		2
28	↓			2
29	↓			2
30	↓			2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築材料1（講義）			通期	教科担任： 山本幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数：	2単位
授業のねらい		建築物等使用される木材・鋼材・コンクリート等の材料別の特徴について学習する。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト（構造） 2級建築士学科新体系問題集（構造）				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築材料とは	JIS, 建築基準法, 建築工事標準仕様書など含む				2
2	↓					2
3	↓					2
4	↓					2
5	木質材料	合板・構造用集成材・単板積層材・パーティクルボード・ファイバーボード・木質建材の使用制限等				2
6	↓					2
7	↓					2
8	↓					2
9	セメント・コンクリート	セメントによるコンクリートの特徴・骨材・フレッシュコンクリート・コンクリート製品等				2
10	↓					2
11	↓					2
12	↓					2
13	↓					2
14	石材・タイル等	岩石の種類・石材の性質・左官材料・焼成温度による分類・タイル・瓦等				2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	構造物形態の種類と反力の算定方法	外力、反力、応力、応力度、変形、 静定構造物、片持ち梁、単純梁		2
17	静定梁において部材に作用する応力の算定方法	片持梁、単純梁、軸方向力、せん断力、曲げモーメント		2
18	↓			2
19	↓			2
20	↓			2
21	応力度とひずみ度	ひずみ度、応力度、弾性係数		2
22	↓			2
23	↓			2
24	部材断面が持つ力学的特性と部材断面に生じる曲げ応力度の算定	図心、断面 1次モーメント、断面 2次 モーメント、断面係数、T 形断面、 曲げひずみ度、曲げ応力度		2
25	↓			2
26	↓			2
27	↓			2
28	その他の応力度の説明と、構造設計の導入として材料強度との関係	せん断応力度、材料強度、構造設計		2
29	↓			2
30	現場見学			2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 建築生産1			通期	教科担任：山本幹雄		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		現場実務の経験を生かした基本的な知識と実践的な知識の習得を目指します。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 木造建築士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科 新体系テキスト 施工 2-施				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築施工現場のあらまし	建築施工の特徴と建設業、建築施工に携わる人々				2
2	↓					2
3	施工計画	施工計画書・工程表等				2
4	地盤調査・測量	地盤調査の種類・敷地測量・工事測量等				2
5	↓					2
6	施工管理	工事関係者・設計図書・工事管理業務・渉外諸手続き等				2
7	↓					2
8	↓					2
9	↓					2
10	仮設工事	仮設物・足場・災害防止対策等				2
11	土工事・地業工事・基礎工事					2
12	↓					2
13	主体工事・鉄筋工事・型枠工事					2
14	↓					2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
16	コンクリート工事・補強CB・鉄骨工事			2
17	↓			2
18	↓			2
19	↓			2
20	木工事・仕上工事			2
21	↓			2
22	↓			2
23	↓			2
24	防水工事・左官工事・タイル工事・塗装工事			2
25	・建具ガラス工事・内装断熱工事			2
26	↓			2
27	改修工事			2
28	契約	契約書類・工事請負契約書・工事請負契約約款等		2
29	積算	積算の概要・工事費の構成・数量積算・歩掛り・単価等		2
30	現場見学			2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

教科名： 建築特講座（講義）			通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		建築士としての将来を見据えて必要な様々な知識、実際に身に着ける			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		二級建築士			教材費	
テキスト・教材		二級建築士試験参考書・問題集 プリント他				
評価方法		前期 課題 後期 課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	二級建築士試験について			二級建築士試験の要綱による	2
2	計画分野	計画分野の補足・強化 試験対策			計画分野の二級建築士問題集を使い補足	6
3	環境分野	環境分野の補足・強化 試験対策			環境分野の二級建築士問題集を使い補足	6
4	外部講師招聘	計画・環境分野の外部講師の招聘、授業 「講師の都合により変更有」			「講師の都合により変更有」	2
5	構造分野	構造分野の補足・強化 試験対策			構造分野の二級建築士問題集を使い補足	6
6	建物見学	各自の注目する建築物の見学 レポート				4
7	法規分野	建築法規分野の補足・強化 試験対策			法規分野の二級建築士問題集を使い補足	6
8	外部講師招聘	法規分野専門の外部講師の授業			「講師の都合により変更有」	2
9	材料分野	建築材料の分野の補足・強化			計画分野の二級建築士問題集を使い補足	6
10	材料実習	実際に使われる建築材料を使った実習			コンクリート利用の施工実習	4
11	建築家研究	各自の選んだ有名建築家の作品研究 レポート			欧米建築家の研究	4
12	外部講師招聘	施工分野での外部講師の招聘授業			「講師の都合により変更有」	2
13	建物見学	各自の自由課題による建物見学 レポート			各自近隣の建築を選び研究	4
14	二級建築士試験演習	二級建築士試験対策としての各自の演習 問題集による課題の発見			試験図面の演習	6
その他						

教科名： 都市デザイン1			通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、人々が生活する場である街という概念を理解し、その街を作り上げる要素を理解することで、より良い都市のデザインにつなげる。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		二級建築士			教材費	
テキスト・教材		プリント・専門雑誌等				
評価方法		前期 課題 後期 課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	都市とは何か 街とは何か 都市と建築			都市とは単に人が集まり生活を行うものなのか。 都市の機能とは	4
2	街を構成するものの練習	近隣へのフィールドワーク 街並みとは 街並みを構成するものとは レポート			フィールドワークを通して自分の住む街を再確認する 街並みという考え方を理解する	12
3	空間	街を構成する大きな空間 空間と人の流れ 空間心理学			街を構成するスケールとは 街における空間の認識	8
4	歴史的街並み	歴史的街並みの実例研究 街並み保全の取り組みについて			歴史的景観の美しさを認識し、 街並みの特徴を考える。	8
5	日本の街並み	日本における歴史的街並み 通り 政治・経済・宗教			色々な街並みを調査研究し、それぞれの特徴・美しさを考える 政治経済宗教による街並み	8
6	各国の街並み	西洋における街並み 広場、通り、 政治・経済・宗教			欧米、アジアの街並みの特徴を調べ、それぞれの特徴を捉える	12
7	近代における街並み	近代の街並みデザイン 現代日本の街並みデザイン			近代での街並みのデザインとそのコンセプトを調べ、人々の行動を考える	8
8	都市計画	都市計画とは 都市計画の考え方			都市計画とは何か 都市計画の用語 考え方を学ぶ	12
9	外構と街	外構と街並み 外構設計			建築物の外構とは その意味と利用方法	12
10	地域における街並みの見学	山形における街並みの構成見学 レポート			各自の調査対象を決め街並みを研究し、まとめ、発表する。	12
11	都市と人	都市と人の関係、街と人の関係 都市における人の流れ			都市間の人の流れ 街と街とのつながり	8
12	都市の未来	各国・日本における新しい都市デザインの在り方とは			新しい街並みの構成とは 現在の都市計画の流れと人の動きを考える	12
13	予備	演習等			補講	4
その他						

教科名：デッサン（実習）		前期・後期・通期		教科担任：長谷川 雅則（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：		1年	単位数：2単位	
建築科(合同)						
授業のねらい		工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナリティーあふれる表現をする。			前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 デザイン力 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		スケッチブック 鉛筆 練り消しゴム				
評価方法		前期：課題 出席状況 学習態度等を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	デッサン	身近なものをスケッチする。			紙と鉛筆になれる	2
2	デッサン	円筒形(石膏)を描く			紙の真中に納める	2
3	デッサン	円錐形(石膏)を描く			縦、横、奥行のバランス	2
4	デッサン	クララ像（石膏）を描く			縦、横、奥行のバランス	2
5	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
6	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
7	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
8	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
9	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
10	デッサン	自画像を描く			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
11	デッサン	自画像を描く			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
12	デッサン	自画像を描く			縦、横、奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
13	デッサン	人体クロッキーを描く			体のプロポーション 動きを捉える	2
14	デッサン	人体クロッキーを描く			体のプロポーション 動きを捉える	2
15	デッサン	人体クロッキーを描く			体のプロポーション 動きを捉える	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

教科名：デッサン（実習）		前期・後期・通期	教科担任：長谷川 雅則（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数：2単位	
建築科(合同)					
授業のねらい	工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナルティーあふれる表現をする。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格	目標 デザイン力 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材	粘土製作用教材				
評価方法	後期：課題 出席状況 学習態度等を総合し評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	デッサン	身近なものを書く		紙と鉛筆になれよう	2
2	デッサン	円筒形（石膏）を描く		紙の真中に納める	2
3	デッサン	三角錐（石膏）を描く		縦、横、奥行きのパランス	2
4	デッサン	クララ像（石膏）を描く		縦、横、奥行きのパランス	2
5	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く		縦、横、奥行きのパランス 陰影のグラデーション	2
6	デッサン	バルテノンの首（石膏）を描く		縦、横、奥行きのパランス 陰影のグラデーション	2
7	粘土制作	ニンニクデッサン		プロポーションを捉える	2
8	粘土制作	ニンニク造型		プロポーションを捉える	2
9	粘土制作	ニンニク造型		プロポーションを捉える	2
10	粘土制作	色彩計画		オリジナルグラフィック デザイナー 色面構成	2
11	粘土制作	色彩計画		オリジナルグラフィック デザイナー 色面構成	2
12	粘土制作	毛の造形		手と腕のプロポーション 指のプロトーションを捉える	2
13	粘土制作	毛の造形		手と腕のプロポーション 指のプロトーションを捉える	2
14	粘土制作	毛の造形		手と腕のプロポーション 指のプロトーションを捉える	2
15	粘土制作	毛の造形		手と腕のプロポーション 指のプロトーションを捉える	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。				

教科名： 色彩計画1（講義）		前期・後期・通期		教科担任： 後藤 清彦		
学科名：建築科 ファッション・プロモート科(合同) ICTクリエイト科(合同)		コース：		1年	単位数： 2 単位	
授業のねらい		カラーコーディネートとは誰もが日常で行っていることであり、自分の主張を発揮できる分野である。それだけに、独りよがりにならぬよう、時代や地域の嗜好など様々な知識が求められる。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 東京商工会議所主催 取得可能な検定 カラーコーディネーター検定試験 2 級			教材費	
テキスト・教材		カラーコーディネーター検定試験 2 級 公式テキストカラーコーディネーター検定試験 2 級 問題集				
評価方法		前期：課題 出席状況 学習態度等を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点			実時数
1	カラーコーディネーションの意義	カラーコーディネーションの際に考慮すべき基礎事項	カラーコーディネーションをする時に、実務に必要な色彩の発想や企画について学ぶ。			4
2	色彩の歴史的展望と現状	近現代のデザインとカラーの歴史 色彩の文化史	近代デザイン・カラーの歴史と、それを取り巻く社会の変化、今日のデザインとの関係を学ぶ。			4
3	〃	自然界と身近な色彩的特徴	動物、植物等の色を理解し、生活における身近な例として建築物や繊維の色の特徴について学ぶ。			4
4	生活者の視点からの色彩	色の見えに影響を与える要因 色の味方の多様性とカラーユニバーサルデザイン	色の見えに影響を与える要因について知識を深め、その特性を理解し配色方についても学ぶ。			4
5	〃	照明の特性と測定 色彩と照明	照明を取り扱う上で必要な、色再現の指標として用いられている内容を理解する。			4
6	〃	色彩の法的規制	日本工業規格(JIS)の測定方法、色彩関連JIS、色彩の法的規制の例として安全色について学ぶ。			4
7	生産者の視点からの色彩	色材の基礎	色材には染料と顔料がある。まず、種類、特徴、性質などを理解し、着色の方法や技術も学ぶ。			4
8	〃	色の測定と表示 色の差の測定と表示	色を扱うときに生じる色の差について、工業的な面から具体的な色差の表示方法に関して学ぶ。			4
9	〃	流行現象の理論と色彩の流行	デザイン特性の一つ、色彩の流行の役割と特質、また流行色がどう作られ、伝えられるかを学ぶ。			4
10	〃	色彩の品質管理	色合わせの工程における色彩の品質管理の考え方を色の検査を中心に学ぶ。			4
11	カラーコーディネーターの視点	色彩の現状把握の目的と調査方法	色彩の現状把握の調査結果から得られる色彩特徴及び、色彩提案などの留意点について学ぶ。			4
12	〃	心を図る-心理測定法	色が人間の心理にどのように働くのかを探り、その量や強さの測定法を学ぶ。			4
13	〃	色彩を伝えるための情報の流れと変換	カラーコーディネーションの結果がどんな情報の変換が行われ、どんな点に注意が必要か学ぶ。			4
14	〃	色彩の心理的効果	目的にあった印象をもたらす色彩の心理的効果について一般的な傾向や属性による相違を学ぶ。			4
15	〃	カラーコーディネーションと配色 カラーコーディネーションの実例	重の色目や、ファッション業界で多用される配色用語、色と面積との関係などを事例と共に学ぶ。			4
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： ビジネス実践 1（講義）			前期		教科担任：堀川 栄美子			
学科名：進級年次			コース：		1年	単位数： 2単位		
授業のねらい		卒業の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくためには、自己理解と仕事理解が基本となる。グループワークを行いながら、時には自分自身に問いかけながら、自己実現に向かって進んでいく。				前期 2H×15W = 30H 合計 30H		
目指す検定・資格						教材費		
テキスト・教材		『未来ノート』『マイロード 2 1』 『就職 一般常識トレーニングブック』						
評価方法		前期 レポート・課題 出席状況を総合する				その他		
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数
1	就職リエンテーション	就職に向けて 2年間の心構え		卒業生の状況理解と、2年間の目標を設定する				
2	未来ノート 1	チーム学修を進めるために 「話し合いの意義」		チーム学習の意義を知る。 メンバー同士の関わり方を身につける				
3	未来ノート 2	自己理解 「私の大切なもの探し」		自分の価値観についてチームで共有し、人それぞれの価値観があることを知る				
4	未来ノート 3	自己理解 「私ってどんな人？」		自分を他者に伝えることを意識して、自己イメージを言葉にできるようになる				
5	未来ノート 4	自己理解 「自分を知る手がかり」		他者は自分が成長するために大切な存在であることを知る				
6	未来ノート 5	自己理解 「過去を振り返ろう」		自分の人生に対する心構えの根っこにあるものに気づき、自分らしさを考える				
7	未来ノート 6	自己理解 「なぜ働くの？」		メンバーの考えを聴きあい、多様な価値観を受け入れられるようになる				
8	未来ノート 7	仕事理解 「地図を作ってみよう」		自分のコミュニケーション特性を知り、円滑なコミュニケーションの取り方を体得する				
9	就 活 ワ ー ク ショップ 1	入学から 2 か月後の振り返りとこれからのキャリアプランニング		2 か月の経験から感じたことを大切にし、未来へのプランニングを行う				
10	未来ノート 8	仕事理解 「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」		組織人としての行動、役割について考える。				
11	未来ノート 9	仕事理解 「インタビューしてみよう」		実際に働いている人にインタビューすることで、仕事を自分に引き寄せて考える				
12	未来ノート 10	仕事選択 ～未来に向けて～ 「模擬店を出そう」①		全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える				
13	未来ノート 11	仕事選択 ～未来に向けて～ 「模擬店を出そう」②		全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える				
14	未来ノート 12	仕事選択 ～未来に向けて～ 「未来ページ」		自己理解と仕事理解をマッチさせ、キャリアの目標を設定する				
15	前期総括	前期まとめ		就職準備期の後期に向けて、キャリア目標を明確にする				
その他								

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：ビジネス実践2（講義）			後期	教科担任：堀川恵美子		
学科名：進級年次1年生		コース：		単位数：	2単位	
授業のねらい		卒業後の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくため、自己理解と仕事理解を深め、これを基本としてグループワークを行いながら、時には自分自身に問いかけながら、自己実現に向かって進むことがねらい。			後 期 2H×15W=30H	
		ビジネスマナーを習得し、就職活動等の希望進路に自信を持って臨めるようにする。			合 計 30H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		『マイロード21』 キャリアファイル				
評価方法		後期：模擬面接にて評価			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	就 活 ワ ー ク ショッ プ	自己分析を深めるワーク			キャリアカウンセラーによる指導	2
2	就職研究会	卒業生と交流			社会人より話を聞き、就職活動を詳しく知る。	2
3	企業研究	企業研究			履歴書の書き方、様式を知る。	2
4	就職活動準備	履歴書の作成 実践①クレペリン検査実施			自己分析を深める。	2
5	就職活動準備	履歴書の作成 実践② 一般常識テスト実施			自己分析から志望動機を書けるようにする。	2
6	就職活動準備	受験書類の提出マナー			封筒の宛名の書き方、郵送の仕方を知る。	2
7	就職活動準備	面接試験 入退室他マナー 面接試験 応答練習			実践を通して、自信をもって就職活動の準備ができるようにする。	2
8	就職活動準備	①入社準備 内定期間中の過ごし方 就業の心得 電話・来客応対 ②未内定者の就職試験対策			自己分析を深める。	2
9	就職活動準備	面接指導・履歴書指導など			社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
10	就職活動準備	③SPIテスト実施				2
11	就職活動交流会	就職内定者の話を聞き、就職活動の具体的なイメージを持つ。			就職活動の準備ができるようにする。	2
12	就職活動準備	① 教養講座			社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
13		② 就職交流会				2
14		③ 履歴書提出等、模擬面接への準備1				2
15		④ 履歴書提出等、模擬面接への準備2				2
その他	なお、上記授業のほか、課題を課すものとする。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：キャリア実習 1（実習）		後 期	教科担任：クラス担任	
学科名：建築科		コース：	1年	単位数：2単位
授業のねらい		外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。	後期	30H×2W = 60H
		自分自身の今後の成長課題を再認識し、在学中の向上を目指す。	合計	60H
目指す検定・資格		特になし	教材費	
テキスト・教材		特になし		
評価方法		後期 所定時間の学外実習 レポート 報告を壮語して評価する	その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	年度の実習概要説明 実習目的・実習規程	実習の目的を理解する。また、担任のアドバイスを受け実習に臨む。	
2	学外実習	実習前 指定の届け出を行う。 実習 所定の時間数以上を実習する。 実習後 所定報告書の提出		
3	報告会	全校報告会 他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する	プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として共有する。	
その他				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 建築設計製図2（実習）			通期	教科担任：山本 幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 4単位	
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、木造建築物を中心に基礎的な建築設計製図に関する演習を実施する。			前期 4H×15W = 60H 後期 4H×15W = 60H 合計 120H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士新体系テキスト（設計製図） 図説やさしい建築計画 製図セット				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	基本製図	線、矩形の描き方、文字の描き方復習				4
2	↓					4
3	↓					4
4	計画と設計の流れ	図面の尺度、ゾーニングとエスキス、色彩、素材表現法など				4
5	↓					4
6	↓					4
7	建築造形の基本と投影法					4
8	↓					4
9	↓					4
10	↓					4
11	インテリア設計と製図					4
12	↓					4
13	↓					4
14	↓					4
15	↓					4
その他	”期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。”					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 建築計画2（講義）			通期	教科担任：山本 絵里子（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、人間の行動を理解し、建築を計画、デザインするための基礎知識を身に付け各空間を計画するうえで重要な事項を学習する。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築施工管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト(計画) 2級建築士学科新体系問題集(計画) 改訂版建築計画を学ぶ建築計画教材研究会 製図セット				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築計画とは	風土、文化、社会、健康と建築との関わり等				2
2	↓					2
3	↓					2
4	建築を作る行為と建築技術者の役割	デザインすることの意味、設計の方法、建築における業種役割等				2
5	↓					2
6	↓					2
7	↓					2
8	人間工学と心理から見る動線の計画と人体寸法					2
9	↓					2
10	面積算定・寸法設計の概要	共建築面積規模・各部寸法等				2
11	↓					2
12	住宅	三世代住宅・高齢者への配慮等				2
13	↓					2
14	集合住宅	メゾネット型・リビングアクセス型・ポイントハウス型等				2
15	↓					2
その他	〃期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。〃					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 建築環境工学2（講義）			通期	教科担任：矢萩 東邦（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		㈱KOEIの職員が指導し、建築環境工学が建築設計にどのように活かされ、また建築物を取り巻く外界状況（都市・地球環境）について理解・習得する。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 二級建築士			教材費	
テキスト・教材		二級建築士新体系テキスト「計画」,新体系問題集「計画」 初学者の建築講座「建築環境工学」（第三版）				
評価方法		前期 試験 後期 試験			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	室内環境	温熱要素について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
2		温熱指標について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
3		空気線図について（空気線図の使い方）			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
4		空気線図について（飽和水蒸気量、飽和水蒸気圧力 他）			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
5		室内空気汚染について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
6	換気	自然換気について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
7		機械換気について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
8		必要換気量について（換気量の計算）			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
9	伝熱・結露	熱の移動について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
10		壁体の伝熱について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
11		伝熱の指標について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
12		伝熱計算について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
13		結露現象について			各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

14		結露対策について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
15		断熱性と熱容量について	各キーワードについて理解し、覚えてもらう	2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 建築設備2（講義）			通期	教科担任：後藤 拓（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 4単位	
授業のねらい		㈱KOEIの職員が指導し、建築設備の中の給排水衛生設備・空気調和設備についての基礎知識を身に付ける			前期 4H×15W = 60H 後期 4H×15W = 60H 合計 120H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築施工管理技士			教材費	
テキスト・教材		"2級建築士学科新体系テキスト（計画） 2級建築士学科新体系問題集（計画） 初学者の建築講座 建築設備製図セット"				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	建築設備概論	建築設備の役割、種類と構成			建築設備の役割種類について理解させる	4
2	給排水衛生設備(1)	給水設備			給水方式・管径計算を理解させる	4
3	↓	給湯設備			計給湯方式給湯量と給湯量料の算を理解させる	4
4	↓	ガス設備			ガスの種類と性質供給方式を理解させる	4
5	↓	排水・通気設備			排水方式管径計算を理解させる	4
6	↓	衛生器具設備			器具の概要設備計画について理解させる	4
7	↓	消火設備			消火設備の基本事項揚程計算について理解させる	4
8	空気調和設備	空気調和と室内環境			室内環境基準評価指標について理解させる	4
9	↓	空気の状態を知る			空気線図の使い方・空調への応用について理解させる	4
10	↓	空調負荷の考え方			負荷の概要と条件計算方法について理解させる	4
11	↓	空気調和方式の種類・特徴と設備計画			空気調和方式熱源方式の種類を理解させる	4
12	↓	熱源・熱搬送設備と熱源			熱搬送設備室内ユニットについて理解させる	4
13	↓	換気・排煙設備			換気の目的換気計算について理解させる	4
14	↓	自動制御設備			方法及び制御機器について理解させる	4
15	↓	図面トレース・機器・器具の選択			各設備図面について理解を深めさせる	4
その他	"期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。					

こ
の
他

授業他、課題により学習内容を定着させる。”

教科名： 構造力学2（講義）			通期	教科担任：山本 絵里子（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		力を数量的にあつかう力学の基礎を学ぶ。部材の応力を算定するための基本的な考え方を修得する。力の釣合式のみで解ける静定構造物全般についての反力・応力・応力図が算定できる能力を得ることを目的とする。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト(構造) 2級建築士学科新体系問題集(構造) 初学者の建築講座建築構造力学図解入門				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	概論・構造力学I復習	力の三要素、力の図示法、外力と内力、反力の求め方、応力、応力図、 応力度				2
2	↓					2
3	力持梁と単純梁型ラーメンの解法	ヒンジラーメン・特殊なラーメンの解法				2
4	↓					2
5	↓					2
6	↓					2
7	↓					2
8	トラスの数式解法と図式解法	トラス、節 点法、リッターの切断法、 クレモナ図法				2
9	↓					2
10	↓					2
11	短柱と長柱の差異、座屈応力度の求め方、座屈の危険性の判断	座屈、座屈荷重、座屈応力度、座屈 長さ、細長比				2
12	↓					2
13	↓					2
14	問題練習及び現場見学					2
15	↓					2
その他	”期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。”					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 建築一般構造2（講義）			通期	教科担任：山本 絵里子（実務経験教員）	
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 2単位
授業のねらい		建築の構造を学ぶうえで、知っておかなければならない基礎的な知識を、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に学習する。		前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築管理技士		教材費	
テキスト・教材		"2級建築士学科新体系テキスト（構造） 2級建築士学科新体系問題集（構造）" "			
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	建築構造の概要	①構法の変遷②分類③建築上の留意点			2
2	↓				2
3	↓				2
4	木構造	①木構造の特徴②構造形式③木材④軸組構法⑤桝組壁構法⑥構造用大断面集成材を用いた構造			2
5	↓				2
6	↓				2
7	↓				2
8	↓				2
9	↓				2
10	↓				2
11	鉄筋コンクリート構造	①鉄筋コンクリート構造の原理と特徴②構造形式③鉄筋とコンクリート④配筋の基本⑤基礎⑥躯体			2
12	↓				2
13	↓				2
14	↓				2
15	↓				2
その他	"期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。"				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 建築材料2（講義）			通期	教科担任：山本 幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：		2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		建築物等使用される材料を工事別に学習する。			前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格		目標 2級建築士 2級建築管理技士			教材費	
テキスト・教材		2級建築士学科新体系テキスト（構造） 2級建築士学科新体系問題集（構造） 世界で一番やさしい建築材料				
評価方法		前期 試験・課題 後期 試験・課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	地盤・基礎・仮設工事	地盤調査/解体・処分/地盤改良/基礎/足場				2
2	↓					2
3	↓					2
4	↓					2
5	躯体工事	仕口・継手/建方/在来軸組工法・枠組壁工法/小屋組/防火・耐火セメント・コンクリート				2
6	↓					2
7	↓					2
8	↓					2
9	屋根・サッシ	屋根下地/瓦・スレート・金属屋根/防水工事の種類				2
10	↓					2
11	↓					2
12	↓					2
13	↓					2
14	内装	木質系材料・自然材料/壁・天井仕上げ				2
15	↓					2
その他	期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。					

教科名： 建築生産2（講義）			通期	教科担任：山本 幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科			コース：		2年	単位数： 2単位
授業のねらい		現場実務の経験を生かした基本的な知識と実践的な知識の習得を目指します。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 2級建築士 木造建築士			教材費	
テキスト・教材		平成29年度 2級建築士学科 新体系テキスト 施工 2-施				
評価方法		前期 試験 後期 試験			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	防水・シーリング・屋根工事	モニターを活用し、教科書の内容が理解できるように努める。			専門用語、特定の数字を捉えられるよう指導を行う	2
2	防水・シーリング・屋根工事	〃			〃	2
3	防水・シーリング・屋根工事	〃			〃	2
4	防水・シーリング・屋根工事	〃			〃	2
5	左 官 ・ タ イ ル ・ 張り石工事	〃			〃	2
6	左 官 ・ タ イ ル ・ 張り石工事	〃			〃	2
7	左 官 ・ タ イ ル ・ 張り石工事	〃			〃	2
8	建具・ガラス工事	〃			〃	2
9	建具・ガラス工事	〃			〃	2
10	建具・ガラス工事	〃			〃	2
11	内装・断熱工事	〃			〃	2
12	内装・断熱工事	〃			〃	2
13	試験の解説	〃			〃	2
14	塗装・吹付け工事	〃			〃	2
15	塗装・吹付け工事	〃			〃	2
その他	〃期末試験成績・提出物・小テスト・授業態度・出席状況を総合して評価する。 授業他、課題により学習内容を定着させる。〃					

教科名： 都市デザイン2（講義）		通期	教科担任：山本 幹雄（実務経験教員）		
学科名： 建築科		コース：	1年	単位数：	4単位
授業のねらい		建築系企業の経験を生かした指導をし、人々が生活する場である街という概念を理解し、その街を作り上げる要素を理解することで、より良い都市のデザインにつなげる。		前期 後期 合計	4H×15W = 60H 4H×15W = 60H 120H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		プリント・専門雑誌等			
評価方法		前期 課題 後期 課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	都市とは何か 街とは何か 都市と建築		都市とは単に人が集まり生活を行うものなのか。 都市の機能とは	4
2	街を構成するものの練習	近隣へのフィールドワーク 街並みとは 街並みを構成するものとは レポート		フィールドワークを通して自分の住む街を再確認する 街並みという考え方を理解する	12
3	空間	街を構成する大きな空間 空間と人の流れ 空間心理学		街を構成するスケールとは 街における空間の認識	8
4	歴史的街並み	歴史的街並みの実例研究 街並み保全の取り組みについて		歴史的景観の美しさを認識し、街並みの特徴を考える。	8
5	日本の街並み	日本における歴史的街並み 通り 政治・経済・宗教		色々な街並みを調査研究し、それぞれの特徴・美しさを考える 政治経済宗教による街並み	8
6	各国の街並み	西洋における街並み 広場、通り、 政治・経済・宗教		欧米、アジアの街並みの特徴を調べ、それぞれの特徴を捉える	12
7	近代における街並み	近代の街並みデザイン 現代日本の街並みデザイン		近代での街並みのデザインとそのコンセプトを調べ、人々の行動を考える	8
8	都市計画	都市計画とは 都市計画の考え方		都市計画とは何か 都市計画の用語 考え方を学ぶ	12
9	外構と街	外構と街並み 外構設計		建築物の外構とは その意味と利用方法	12
10	地域における街並みの見学	山形における街並みの構成見学 レポート		各自の調査対象を決め街並みを研究し、まとめ、発表する。	12
11	都市と人	都市と人の関係、街と人の関係 都市における人の流れ		都市間の人の流れ 街と街とのつながり	8
12	都市の未来	各国・日本における新しい都市デザインの在り方とは		新しい街並みの構成とは 現在の都市計画の流れと人の動きを考える	12
13	予備	演習等		補講	4
その他					

教科名： 色彩計画（講義）		前期・後期・通期		教科担任： 後藤 清彦		
学科名：建築科		コース：		1年	単位数： 2 単位	
ファッション・プロモート科(合同)						
ICTクリエイト科(合同)						
授業のねらい		カラーコーディネートとは誰もが日常で行っていることであり、自分の主張を発揮できる分野である。それだけに、独りよがりにならぬよう、時代や地域の嗜好など様々な知識が求められる。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 東京商工会議所主催 取得可能な検定 カラーコーディネーター検定試験 2 級			教材費	
テキスト・教材		カラーコーディネーター検定試験 2 級 公式テキストカラーコーディネーター検定試験 2 級 問題集				
評価方法		前期：課題 出席状況 学習態度等を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点		実時数
1	カラーコーディネーションの意義	カラーコーディネーションの際に考慮すべき基礎事項		カラーコーディネーションをする時に、実務に必要な色彩の発想や企画について学ぶ。		4
2	色彩の歴史的展望と現状	近現代のデザインとカラーの歴史 色彩の文化史		近代デザイン・カラーの歴史と、それを取り巻く社会の変化、今日のデザインとの関係を学ぶ。		4
3	〃	自然界と身近な色彩的特徴		動物、植物等の色を理解し、生活における身近な例として建築物や繊維の色の特徴について学ぶ。		4
4	生活者の視点からの色彩	色の見えに影響を与える要因 色の味方の多様性とカラーユニバーサルデザイン		色の見えに影響を与える要因について知識を深め、その特性を理解し配色方についても学ぶ。		4
5	〃	照明の特性と測定 色彩と照明		照明を取り扱う上で必要な、色再現の指標として用いられている内容を理解する。		4
6	〃	色彩の法的規制		日本工業規格(JIS)の測定方法、色彩関連JIS、色彩の法的規制の例として安全色について学ぶ。		4
7	生産者の視点からの色彩	色材の基礎		色材には染料と顔料がある。まず、種類、特徴、性質などを理解し、着色の方法や技術も学ぶ。		4
8	〃	色の測定と表示 色の差の測定と表示		色を扱うときに生じる色の差について、工業的な面から具体的な色差の表示方法に関して学ぶ。		4
9	〃	流行現象の理論と色彩の流行		デザイン特性の一つ、色彩の流行の役割と特質、また流行色がどう作られ、伝えられるかを学ぶ。		4
10	〃	色彩の品質管理		色合わせの工程における色彩の品質管理の考え方を色の検査を中心に学ぶ。		4
11	カラーコーディネーターの視点	色彩の現状把握の目的と調査方法		色彩の現状把握の調査結果から得られる色彩特徴及び、色彩提案などの留意点について学ぶ。		4
12	〃	心を図る-心理測定法		色が人間の心理にどのように働くのかを探り、その量や強さの測定法を学ぶ。		4
13	〃	色彩を伝えるための情報の流れと変換		カラーコーディネーションの結果がどんな情報の変換が行われ、どんな点に注意が必要か学ぶ。		4
14	〃	色彩の心理的効果		目的にあった印象をもたらす色彩の心理的効果について一般的な傾向や属性による相違を学ぶ。		4
15	〃	カラーコーディネーションと配色 カラーコーディネーションの実例		重の色目や、ファッション業界で多用される配色用語、色と面積との関係などを事例と共に学ぶ。		4
そ						

その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す
-----	-------------------------

教科名： ビジネス実務2（講義）			前期（通期）	教科担任：担任		
学科名： 卒年次生			コース：	2 年	単位数： 前期 2単位	
授業のねらい		1 年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけではなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。			前期 2H×15W = 30H 後期 合計 30H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		1年次使用教材 『未来ノート』『マイロード』 専門学校生のための就職筆記試験対策問題集				
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	2 年次の就職活動心構えと行動 春期休業中の就職活動まとめ			就職活動への意欲を高める	2
2	企業研究	インターネット、企業PR誌等を活用し、目指す業界の企業を知る。			未知企業への視野を広げる	2
3	教養講座	教養講座「社会保険：国民年金について」 自己PR作成			国民年金制度の理解 自分自身を言葉にする	2
4	メールのマナー 1	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。			適切な使用を理解し実践する。	2
5	メールのマナー 2	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。			適切な使用を理解し実践する。	2
6	電話対応 1	電話の基本マナー			受け手・かけ手の基本マナーを再確認する	2
7	電話対応 2	状況に応じた電話対応			就職活動を想定する。	2
8	就職試験対策 2	文章作成 作文・課題を読んだ意見文			読み手に自分の考えを伝える文書作成を意識する	2
9	就職試験対策 3	面接試験での応答			質問の受けとめ、自分の考えを言葉にする難しさを知る	2
10	就職試験対策 4	常識問題			得意分野の伸ばし、苦手分野を強化する	2
11	就職試験対策 5	自己PRの完成			説得力のある内容に組み立てる	2
12	文書作成	社外文書（内定礼状等）			社外文書様式を知り、礼状作成ができるようになる	2
13	訪問のマナー	一般的な他者訪問			社会生活のマナーとして習得する	2
14	ワーキングアットベンチャー企業研究	事前に企業研究を行い、座談会では受け身ではなく積極的な参加を行う。			自分が知らない企業であっても、大きな出会いとなるチャンスである	2
15	ワーキングアットベンチャー振り返り				企業トップの話から、働くことの意義、喜びを感じ取る	2
その他	7月下旬 模擬面接実施 8月上旬 ワーキングアットベンチャー年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 必要に応じて、オンライン面接・個別面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施					

教科名： ビジネス実務2（講義）			後期（通期）		教科担任：担任	
学科名： 卒年次生			コース：		2 年	単位数： 後期 2単位
授業のねらい		1 年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけではなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。			後期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		1年次使用教材 『未来ノート』『マイロード』 専門学校生のための就職筆記試験対策問題集				
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	夏期休暇中のまとめ	長期休暇での活動まとめ これからの活動計画立案			未内定の学生は意欲を保持して活動を継続する	2
2	内定期間中の過ごし方	内定の意味を理解し、学校生活・社会生活全般を意識する			卒業までの期間は学生という立場だけでないことを意識する	2
3	職場の人間関係	公的な場で求められる社会ルール、気遣い			個人的関係、公的関係の違いを知る	2
4	電話応対 3	電話応対の応用 会社への電話 取次			電話機を使うことで緊張感を持つ	2
5	電話応対 4	電話応対の応用 会社への電話 不在時の対応			電話機を使うことで緊張感を持つ	2
6	訪問のマナー 3	アポイントの取り方から訪問			ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
7	訪問のマナー 4	名刺交換 お茶の接待・いただき方			ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
8	訪問のマナー 4	お茶の接待・いただき方 実践			日常ではお茶を煎れる機会が減っているため、全員実践する	2
9	慶弔 1	冠婚葬祭 慶事と弔事			自分の経験を思い出しながら学ぶ	2
10	慶弔 2	冠婚葬祭 慶事と弔事 祝儀袋・不祝儀袋の書き方			筆ペンを使用し作成する	2
11	慶弔 3	冠婚葬祭 会社の季節行事			次年度からを意識する	2
12	教養講座（卒）	1 年生に対し就職活動アドバイスを行う			自経験を後輩への適切なアドバイスを行う。	2
13	就職活動交流会	外部講師による労働・社会保険等講話			労働者としての重要な情報を把握する	2
14	文書作成	季節の挨拶状			年賀等の季節の挨拶状	2
15	1 年間の総括	今後の社会人生の目標を考える。				2
その他	年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： キャリア実習 2（実習）			後 期	教科担任： クラス担任		
学科名： 建築科		コース：		2 年	単位数： 2単位	
授業のねらい		外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。就職年次は、前年度の課題を改善し、卒業後の職業人としての行動につないでいく。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		特になし			教材費	
テキスト・教材		特になし				
評価方法		後期 所定時間の学外実習 レポート 報告を壮語して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	年度の実習概要説明 実習目的・実習規程			実習の目的を理解して臨む。卒業年次は、前年度の経験を踏まえ、課題改善に取り組む。	2
2	学外実習	実習前 指定の届け出を行う。 実習 所定の時間数以上を実習する。 実習後 所定報告書の提出				56
3	報告会	全校報告会 他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する			プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として共有する。	2
その他						